

市民のひろば

原稿募集

広報なんこくでは、「市民の声」など、市政に対する建設的をこ意見、女性のほのぼのとした随想、つくし」欄などへあなたの参加をお待ちしています。中学、高校生の詩や作文もどうぞ。



「ご家庭で話し合ってから答えてください。答えは今月号の広報に出ています。」

昭和五十年一月一日現在の市の総世帯数は四千五百五十一戸で、昭和四十五年に比べて、〇百〇十戸減少しています。

讃山崎勲さん

光東方より 今年越山の頂上に
白雲の殿堂は建つ
苦斗幾年の月日ぞ山崎さん
感慨又無量なり

一級輪選手の願望より
大事業の完成はなる
誰が言う貧者の一燈とは
世に巨億の富をなすといえども
不幸なる者弱者には一顧も与えず

高位けん官に付くといえども
他人の為に涙するは少なき
世の谷間にありて悲歎に泣く
重慶障害児に光明と希望を灯す
呼鳴偉大なり君の事業
呼鳴純一無難なり君の愛
君志を樹て幾年か

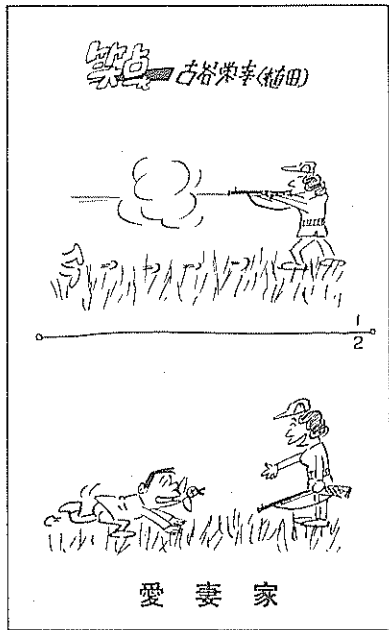
茨の路を求めて苦難の矢面に立つ
道は遠く希ははるかなるも
併も茲に初志を貫てつす
愛の路よ永遠なれ

岩村正勝(南園市手をつなぐ親の会理事長)

川を美しく

長岡西部地区衛生委員会が「川をきれいにしましょう」をテーマに子供会に呼びかけて作品を募集しました。

最近、市内の河川流域でゴミの不法投棄がめだち下流の人たちが迷惑していますので、市民ピアーののために使われます。
入賞の三人は十月二十日、表彰状と記念品が贈られました。



愛妻家



銅賞 長岡小2年北村利之
7区つくし子供会



銀賞 長岡小1年大川辰彦
1区青空子供会



金賞 長岡小4年永吉弘枝
3区西みどり子供会

学校めぐり

★岡豊小学校★

ほくたちの学校は長曾我部元親の居城 岡豊山の東ふもとにあり、山と田園の緑に囲まれたこじんまりとした、静かなたたずまいの学校です。

学校の歴史は古く、明治六年に六つの学校ができ、大正四年に合併して岡豊小学校ができました。児童数は二百四十四名、先生がたが十五名でみんな楽しく元気にすごしています。

運動場にはりっぱな植木がならんでおり、年に一度PTAのほうできれいにさんばつをします。四年前に出来た体育館、今年はその改築もでき、学校に来るのが楽しみです。

ほくたちのじまん出来る事の一つは、一人一人ではそんなに優れた人はいませんが、みんなが支え合って強い力を出す事が出来ることです。そのしゅうこには、陸上記録会で個人の走りには入賞出来ませんが、リレーのように力を出しあう種目では入賞出来た

しめきり 十二月十五日(月)

■おくり先

〒六三三 南園市大塚・南園市役所内・広報委員会・親子クイズ係 答えのハガキには、必ずお歳、職業を書いてください。広報や行政に関するご意見、マンガ、詩、地区の話題など、どしどしお寄せください。マンガは黒のスマまたはインキで書いてください。

■しようひん

特賞 千円二人、残念賞(記念品)十人

■特賞に

浜田 みほさん(下島) 菊谷美恵子さん(前浜)

■第五十回正解発表

■こたえ

先月十二日に行なわれた市会議員選挙につづいて、①〇月①②日は市長選挙、十一月二十三日は知事選挙が行なわれます。

■特賞・二千円

浜田 みほ(下島) 菊谷美恵子(前浜)

■残念賞(記念品)

竹崎三州(久礼田) 岡崎敏子(篠原) 野崎房子(篠原) 山本博子(稲生) 島田八重子(古市) 中村邦子(中央団地) 山中由雄(稲生) 窪添正隆(岡豊町) 森田泰夫(後免) 溝瀬保宏(浜改田)

南国俳壇

実をもたぬ木々秋空りんりん鳴る
アサの枯ぼろぼろと月に置く
月旦や白銀ついに髪に入る
赤とんぼ川面を小さき旋風過ぐ
薬塚のそばに桑山の子葬られ
二百酔野菊の露で顔醒ます
蹴球の乾いた音する晩年くる
曼珠沙華燃え尽き慈顔の石仏
去るために来し秋蝶と思ひ見る

岡田 寿子(花柳俳句会)
岡田 昌子()
楠瀬 統子()
西田 久枝(芽花の会)
浜田 民由()
門田けんぶ()
北村 北児(大塚俳句教室)
別役 敏子()
竹内ただし()

南国歌壇

おばあちゃんの妹に生まれたかっ
たと慕いくる孫は次女なり抱き
しめてやる 岡豊町 葛目治子
口にまでいでし言葉のみこみて
かえる夜道に子猫つぎくる
ひさびさの母と語りうドライブの
帰りみやげに花梨の香り
そは白く咲きける野道を帰る園児
の赤き合羽が時折見ゆる
大塚 伊藤誠子

心の海

つくし
みほらす手
結山の隅
で、あなた
をあひなが
ら、いま私はやさしい友と一緒
にうっとりとした気分ひたっ
ています。
この前、別離を書いたつたな
い詩。でも、その心が天に通じ
たのでしようか。半年ぶりにき
よう友と再会することができて
夢のようにうれしく、つもる話
を何時間したでしょうか。音楽
の話、文学の話、これからのお
仕事のことなど。母娘ほど同年
の違ふ友とこんなに意気投合す
るなんて。

破鏡の運命にあつて遠く南国市
を去っていくあなた。けれどもあ
なたはまだ若い。新しい希望に胸
をふくらませて大きく羽ばたいて
行ってください。さみしいけれど
あなたの幸せのためなら私も耐え
ていきたい。会うは別れのはじめ
とか。人生において、人びとはい
くたび別れをすることでしょう。
生きての別れ、死者との別れ。戦
争で私は多くの友と別れました。
そしていまあなたとも。
南国の青い空と海が好きと言っ

刈谷益子(後免)